

令和元年度

新潟県高等学校野球連盟技術向上研修報告

令和元年 8月17日

北支部：吉田 守利

南支部：五十嵐 隆幸

この度は、第101回全国高校野球選手権大会に審判技術向上研修として参加させて頂きありがとうございました。

この研修に参加し、甲子園での大会における大会運営の方々の取組む姿勢、審判員に方々のきびきびした動き、球場管理者の無駄のないグラウンド整備等を目のあたりにし、大会を成功させるため大会運営に係る全ての関係者の熱い情熱を感じました。

簡単ではございますが、研修内容を取りまとめましたので以下のとおり報告します。

1. 研修内容

- 研修期間 令和元年8月9日（金）～11日（日）
- 研修場所 阪神甲子園球場
- 研修目的 第101回全国高等学校野球選手権大会における審判技術研修
- 参加者 北支部：吉田 守利 南支部：五十嵐 隆幸

2. 研修見学試合

【9日 第二試合6回から見学】

- 8月9日 大会4日目第2試合飯山（長野）：仙台育英（宮城）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計		H	E
飯山	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		2	5
仙台育英	0	0	4	3	10	1	2	0	×	20		24	0

審判員 球審：金丸 1塁：北田 2塁：大屋 3塁：深沢

試合時間 2時間16分

- 特記事項
- ・攻守交替に係る時間20秒
 - ・投手は、打者や走者でない場合一番早くマウンドへ行く
 - ・審判がプレートを掃く前に投手は来ている。

- 各審判ともきびきびした動きをしていた。
- レフトライン際のフライに3塁塁審「GO OUT」キャッチアウトのジャッジを行った後、振返って3塁に戻る姿勢をとった後にファール地域での捕球したジェスチャーを行っていた。
- 飯山側スタンドからの声援が声が聞こえないくらいすごかった



➤ 8月9日 大会4日目第3試合習志野（千葉）：沖縄尚学（沖縄）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	H	E
習志野	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	5	11	1
沖縄尚学	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	4	6	2

審判員 球審：鈴木 1塁：田中 2塁：山本 3塁：小原

試合時間 2時間20分

- 特記事項
- 攻守交替に係る時間両チームとも25秒～30秒であった。
 - 審判がプレートを掃く前に投手は来ている。
 - タイム時間 15秒～20秒（遅くとも30秒（ピンチ時））
 - 審判員の給水は、コーチャーズBOX手前でボールボーイが用意していた。
 - 鈴木球審が、誰もいないブルペンにロージンがあったので排除するように指示、また、ネクストバッターがいない時には準備するよう的確な指示をしていた。（視野が広い。）
 - 塁審のセーフのジェスチャーが、水平に腕が伸びていて大きく見えた。（かっこよく見えた。）
 - 6回裏2アウト2・3塁でショートゴロの際に2塁走者打球に当たる。守備妨害3塁塁審タイム走者アウト。球審はすぐ放送に守備妨害があったことを伝える。（役割ができていた。）
 - 試合時間は長かったがテンポの良い試合であった。

➤ 8月9日 大会4日目第4試合高松商（香川）：鶴岡東（山形）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計	H	E
鶴岡東	0	0	0	0	3	0	0	1	2		6	9	0
高松商	0	1	1	0	0	0	0	0	2		4	11	1

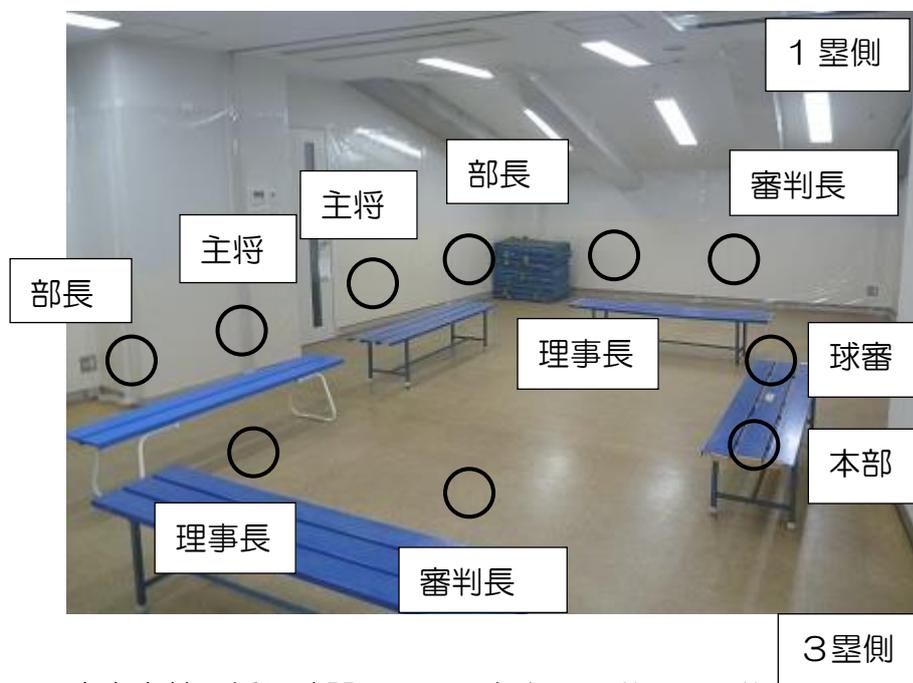
審判員 球審：堅田 1塁：倉谷 2塁：大槻 3塁：亀谷
外審：北田、大屋（6回から）

試合時間 2時間26分

トス時内容 ・トス前にテーピング、マウスピース、サングラス確認

- 【球審から】
- ・甲子園出場おめでとう。
 - ・普段の力を出し切って、この試合が良かったと観客から言われるようにしていこう。
 - ・キャプテンが引張っていくように
 - ・水分補給を十分にとろう。（走者に出た場合は特に）
 - ・グローブの紐をチェックして下さい。長いのは切って下さい
 - ・礼は合わせるように
- 【本部から】
- ・フェアプレーでいこう。
 - ・水分補給を十分行うこと。熱中症に注意
 - ・試合前の挨拶は合わせること。

・トス風景（イメージ）



- 特記事項
- ・攻守交替に係る時間両チームとも20秒～30秒であった。
 - ・タイム時間 15秒～25秒（25秒はピンチ時）
 - ・打者が走者となった場合にレッグガード、エルボーガードのみ

をコーチャーに渡し、手袋はポケットに入れるよう塁審が指示していた。(この大会ではお願いしているとのこと。)



➤ 8月10日 大会5日目

第1試合日本文理(新潟): 関東第一(東東京)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計	H	E
日本文理	1	0	1	3	0	0	1	0	0		6	9	0
関東一	0	0	4	2	0	0	2	1	×		10	15	1

審判員 球審：高田 1塁：中西 2塁：長尾 3塁：佐古

試合時間 2時間16分

- 特記事項
- 攻守交替に係る時間両チームとも25秒~35秒であった。
 - タイム時間10秒~25秒(25秒はピンチ時)
 - 3回裏、1アウト2・3塁キャッチャーフライがバックネット方向に。球審が打球を追った時に1塁塁審はホームカバーに来ていた。
 - 7回表、走者1塁セカンド後方の飛球に2塁手がジャンプしてキャッチその後1回転、2塁塁審がアウトのジャッジを3~4回していた。(観衆に的確に伝わった。)
 - 7回裏関東一4番打者の時、空振りして足がつった。球審はタイムで給水させていた。
 - 9回表、代打「渡辺」に手首のバンテージをきちんとつけるよう指示していた。(親指にかけていなかった。様子)
 - 2塁塁審が関東一高野投手に球を交換するよう指示。(投手が指を舐めたかは不明。2回あった。)
 - ヒット数の割には時間が掛からなかった。



➤ 8月10日 大会5日目

第2試合 熊本工 (熊本) : 山梨学院 (山梨)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	H	E
山梨院	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	2
熊本工	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1×	3	8	2

審判員 球審：乗金 1塁：岸 2塁：黒羽 3塁：竹田

試合時間 2時間45分

トス時内容 ・トス前にテーピング (6人)、マウスピース確認

【球審から】 ・甲子園出場おめでとう。

・周りから「さすが！」と言われるよう頑張ってください。

・相手を思いやり、フェアプレーで

・グローブの紐をチェックして下さい。長いのは切ってください。

- 【本部から】
- 水分補給を十分行うこと。熱中症に注意
 - 具合が悪くても、試合に出たいからと言って「ガマン」しないこと。（すぐに申し出ること。）
 - 3つのFを確認、セカンドで紛らわしい行為はしないこと。（サイン盗み）
 - 試合前の挨拶は合わせること。
 - 観衆やテレビを見ている人に「高校野球の魅力」を伝えよう
 - キャプテンの笑顔が1番。
- 特記事項
- 攻守交替に係る時間両チームとも20秒～30秒であった。
 - タイム時間20秒～30秒（30秒はピンチ時）
 - 審判の給水は球審毎回、塁審偶数回終了時にボールボーイがペットボトルを渡していた。
 - 9回終了時に給水タイムとグラウンド整備



※熊本工伝統の応援団（学ラン）による応援



➤ 8月10日 大会5日目

第3試合 岡山学芸館（岡山）：広島商業（広島）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
広島商	0	1	0	0	1	2	1	0	0	5	8	1
岡山学芸	1	0	0	0	0	1	1	3	×	6	10	1

審判員 球審：前坂 1塁：三宅 2塁：大上 3塁：高島

試合時間 2時間26分

- 特記事項
- ・攻守交替に係る時間両チームとも20秒～30秒であった。
 - ・タイム時間25秒～30秒（30秒はピンチ時）
 - ・審判がプレートを掃く前に投手は来ている。
 - ・1回裏2アウトピチャーライナー顔面に打球が当たる。内野ゴロとなり1塁でアウト。すぐに球審がマウンドへ投手は負傷退場（担架で運ばれる。）球審の的確な指示あり。
 - ・6回終了時に球審が、本部に呼ばれてから広島商ベンチへ行く。
（1塁へのけん制が続けて3回と多かったため投手に指導）



※球審の力強い「プレー」宣言



➤ 8月11日 大会6日目

第1試合 筑陽学園（福岡）：作新学院（栃木）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	H	E
作新学院	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	5	10	1
筑陽学園	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	9	2

審判員 球審：美野 1塁：古川 2塁：深沢 3塁：佐藤

試合時間 2時間15分

- 特記事項
- ・攻守交替に係る時間両チームとも20秒～35秒であった。
 - ・タイム時間25秒（両チームともすべてのタイム同じ時間）
 - ・審判がプレートを掃く前に投手は来ている。
 - ・1回表1アウト2・3塁内野は前進守備の際2塁塁審は中に位置していた。
（2塁手は塁審より前に位置しているため邪魔になっていない。）
 - ・球審のストライクコールにキレがあった。
（見ていて参考となった。）
 - ・3回裏の攻守交代時に1塁塁審が投手に指導しに行く。
（けん制時の踏み出しが甘い。）
 - ・2塁塁審はイージーフライについて、キャッチアウトコールしていなかった。





		一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
東海相模	新編	福松	中石	橋大	八立	河重	林				6	6	2
近江	開編	田尾	島井	山内	藤石						1	4	6
		7	4	3	6	8	5	9	2	1			
		5	3	6	9	4	2	7	8	1			
		湯弥	中福	江進	野石	西							
		島富	村岡	原藤	田川	龍							

➤ 8月11日 大会6日目

第2試合 東海大相模（神奈川）：近江（滋賀）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
東海相模	0	0	0	1	1	3	0	0	1	6	6	2
近江	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	6

審判員 球審：戸塚 1塁：大槻 2塁：宅間 3塁：矢野

試合時間 2時間10分

- 特記事項
- ・攻守交替に係る時間両チームとも25秒であった。
 - ・タイム時間20秒前後（両チームとも同じ時間であった。）
 - ・1回裏に球審が、キャッチャー用具を付ける場所（ネクストバッターボックス）へ誘導し、控選手がそこに用具を置いて準備していた。
 - ・1塁コーチがセーフのジェスチャーをした際、球審がしないように指導していた。
 - ・打者がバットの先で内野ゴロを打った際には、アウト後にタイムをかけ、ボール交換していた。
（球審の動きは見ていて参考となった。）
 - ・7回裏、1塁手と打者走者が接触、走塁妨害と判断して打者走者を2塁へ指示。（的確でスムーズなゲームだった。）
 - ・2塁塁審はイージーフライについて、キャッチアウトコールしていなかった。

		一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
東海大相模	新編	嶋井	西山	金遠	本松	加					8	2	7
近江	開編	沼上	川村	城藤	間本	藤					6	4	7
		8	2	7	3	5	1	9	6	4			
		6	4	7	2	3	9	5	1	8			
		上見	佐有	坂三	鈴	茂							
		田市	谷馬	坂浦	木	野							





【グラウンド整備について】

- 毎試合見ていて、グラウンド整備は最短の時間で手際よくされていた。
- 5回終了時の整備はホーム前、1・2塁間、2・3塁間のみ整備を行い。ラインを引いて終了。
- 選手がベンチ前にいても関係なく水巻等を手際よく行っていた。
- 甲子園の土は、鳥取、岡山、鹿児島等全国各地から選りすぐった黒土と白土をブレンドしているとのこと。



【研修に参加して】

➤ 北支部：吉田 守利

この度は、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

猛暑にも負けずに、審判の切れの良いジェスチャーや良い位置取りを目の前で見ることができ大変参考になりました。

スピードアップのために無駄な時間は作らないよう、選手、審判、大会関係者がそれぞれの立場で理解し、行動し、みんなが一緒になって試合を作っていくということが、肌で感じました。

また、「常に相手への思いやり」、「フェアプレー」などの大切さについても勉強になりました。

最後にこの機会を与えてくださった新潟県高野連の審判部及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

➤ 南支部：五十嵐 隆幸

令和元年を迎え、新たな大会に研修という形で参加させて頂きありがとうございました。

どの試合も選手ファーストでスピーディーに進められており、熱中症の対応など審判の瞬時の判断、指示が大切なのだと感じました。又、際どいプレイ時の大きなジェスチャーは、わかりやすく効果的でした。

甲子園を目指す選手達の為にも、日頃からの心構えや準備、自信をもって審判という形で貢献していきたいと思えます。

今回の研修に派遣させて頂いた新潟県高等学校野球連盟、審判部会長並びに審判委員の皆様には感謝申し上げます。報告と致します。

ありがとうございました。

